

鳥獣被害対策チェックリスト

家庭用

野生動物を人里に近づけないようにするには、野生動物の餌場にならないこと、人里に近づくための隠れる場所を作らないことをしっかり行うことが必要です。

皆さん一人一人が、意識を持って取り組まない限り、被害を減らすことはできません。

まずは、皆さんの家庭で行えることを実践しているか（行うこと）を確認しましょう。

それぞれの項目について、「はい」か「いいえ」のうち当てはまるほうを○で囲んでください。

取組状況の評価は、「はい」の○の数が全体の3分の2以上は鳥獣被害に強い家庭、3分の2～3分の1は鳥獣被害に少し強い家庭、3分の1以下は鳥獣被害に弱い家庭、となります。

被害を受けたら家族や近所、市役所及びJA担当者に連絡している	はい・いいえ
クズ野菜は庭や畑にそのまま捨てずにコンポスト等を利用している。	はい・いいえ
生ゴミをほ場周辺に捨てると獣をおびき寄せるので、適切に処理している。	はい・いいえ
お墓のお供え物も餌になるので、お参りが済んだら持ち帰っている。	はい・いいえ
収穫しないと決めた野菜などは食べられる前に処分している。	はい・いいえ
畑の周辺で野生化している野菜は取り除いている。	はい・いいえ
稲刈り後の2番穂や遅れ穂も餌になるので、耕起している。	はい・いいえ
庭や集落内の果樹(柿・栗等)は被害に遭わないように適切に管理している。	はい・いいえ
食害を受けにくい栽培方法を実践している。	はい・いいえ
柵越し、ネット越しの被害を受けないように作物と柵の間隔を十分にとっている。	はい・いいえ
電気柵は漏電しないように下草刈りなどの管理を徹底している。	はい・いいえ
侵入されたときは、すぐに柵の改善を行っている。	はい・いいえ
被害を受けたらすぐに対処して繰り返し被害を受けないようにしている。	はい・いいえ
野生動物の隠れ場所になりそうな茂みなどは、なるべく減らしている。	はい・いいえ

原案：北陸農政局